

新型コロナウイルス感染症対策に係る  
知事と市長との意見交換議事録

令和 2 年 3 月 6 日（金）

於・都庁第一本庁舎 9 階ホ<sup>ロ</sup>レ<sup>ー</sup>ションルーム

〔開 会〕

○行政部長

おはようございます。これから新型コロナウイルス感染症対策に関する市長と小池知事との意見交換を始めさせていただきます。冒頭、小池知事から一言御発言をお願いいたします。

○小池知事

皆さん、おはようございます。今日は議会の会期中だと思えますけれども、ありがとうございます。さて、新型コロナウイルス感染症への対応というのは、御承知のように、日々変わっております。また、刻一刻、変化をしている中で、極めて重要な局面を迎えておりまして、今週、来週、感染の急速な拡大、収束できるかどうか、瀬戸際であるという、その意識をまず共有させていただければと存じます。そこで、都といたしまして、一昨日ですが、新型コロナウイルス対策対応緊急東京チームという組織を立ち上げておりまして、緊急対応策を早急に取りまとめ、国とも連携をしながら、感染の拡大の防止、そして都民生活への影響を最小限に抑える施策を打ち出して参ります。これは、御承知のように、国が予備費を使って、緊急の対応策を 10 日の日にも発表されると聞いております。それに加えまして、東京都に何ができるか、何をしなければならないか、そのために今日、直接皆様方から、多摩 26 市を抱えておられる現場のお声、課題を伺っておこう、というものでございます。日々変化する中で、情報が様々行き交っている中、皆様方にとっては市民の不安をどのようにして解消し、また、様々な実際の対応をされるかご苦労されていると思いますが、今日はそういった課題を皆様方と共有しつつ、その方策を見出していきたいと考えております。そして、国への要望としてまとめて参りたいと考えておりますので、どう

ぞよろしくお願ひ申し上げます。

○行政部長

それでは、市長会からの冒頭の挨拶と要望事項につきまして、市長会会長の立川市・清水市長より合わせて御発言をお願いできればと存じます。

○清水市長（立川市）

東京都市長会会長、立川市長の清水でございます。市長会代表として、一言申し上げたいと存じます。本日は、急速に感染拡大をする新型コロナウイルス感染症対策につきまして、このような意見交換の場を設けていただきましたことに、心から感謝を申し上げる次第でございます。東京都におかれましては、小池知事が先頭に立たれまして、新型コロナウイルス感染症対策に全庁を挙げて取り組んでおられることと存じます。敬意を表する次第であります。しかしながら、急激な感染拡大に伴いまして、子供をもつ家庭をはじめ、教育・医療・介護等の現場におきましても、様々な不安や課題が広がっております。地域経済への影響も顕在化してきているところでございます。住民生活に最も近い現場を預かる市長といたしましても、大変苦慮しているところであります。こうした未曾有の事態を打破していくためには、東京都と地域の実情に精通をしております市が、緊密に連携して対応策をとることが必要不可欠であると考えているところでございます。本来であるならば、多摩26市の全市長から、直接知事に現場の生の声をお伝えしたいところでありますけれども、事前に意見を聞き取り、まとめて参りましたので、私が代表して東京都市長会としての要望事項をお伝えさせていただきます。

大きくまとめますと、要望事項は六点あります。まず一点目ではありますが、社会福祉施設、医療機関、あるいは学校等におけるマスクや消毒液等の衛生消耗品の確保支援を、まずはしていただきたいということであります。二番目には、全国一斉休校に伴います、子供の居場所の確保。これが大きな課題だと思っております、この支援につきまして、よろしくお願ひしたい。三番目には、新型コロナウイルスに関する検査体制、相談体制の強化でございます。四番目が、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者や雇用者に対する支援が必要となって参ります。それから、五番目であります。市における特別な財政事情に対する財政支援であります。個々の市によって、それぞれ大きな取り組み方が違うものですから、その点にご配慮いただければありがたいと思っております。六番目であ

りますが、各市及び保健所、医療機関に対する迅速な情報提供でございます。これを東京都でまとめていただいて、流していただければありがたいと思っております。これらにつきましては、私ども多摩 26 市の意見を十分に踏まえて、特段の御配慮をお願いしたいと存じます。私からは以上でございますけれども、本日は市長会を代表して、顧問と副会長の市長も出席いただいております。是非とも知事に現場からの生の声をお聞き取りいただきますようお願い申し上げます。どうもありがとうございました。よろしく願いいたします。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、羽村市の並木市長から御発言をお願いできればと存じます。

#### ○並木市長（羽村市）

おはようございます。知事、このような機会をつくっていただき、ありがとうございました。今、会長から具体的なお話をさせていただきました。羽村市におきましても、それぞれ同じような課題を抱えておりますので、後ほどコメントをいただけるかと思っておりますけれども、その中でも是非、今の要望につきまして御検討いただきたいと存じます。都議会でも、昨日だったかと思っておりますけれども、補正予算、そして新年度における補正予算につきましても対策という形で打っていただいております。ありがとうございます。それから3月5日に全国知事会の中でも、全国市長会からの要望といいたまいますか、そういった提案もさせていただいているかと思っております。これから要望書にまとめるように承知しております。全国の声が反映されたと思っておりますが、異口同音、知事がおっしゃられたような、本当に大変な状況の中で、緊急対策をどう打っていいかということに現場が悩んでいるという状況でございます。そういった意味で、羽村市について具体的には、雇用や企業の町でございますので、対策が重点として出てくるところでございます。私として、視点を二点、この要望事項と通じるところでございますけれども、今後というところで、二点述べさせていただきます。

一点目ですが、今、対策としてやっておりますけれども、個々の対策をそれぞれやっている中で、予防や、治療等起きたことに対する対策が、どこが節目かというのがわからない中で、それぞれが対応に苦慮しているところでございまして、是非新年度と、令和2年

3月31日、令和2年4月1日と、その大きなところで節目と言いましょか、その分岐点というものを置いていただいて、そこまでに出来ることと、先送りすることと、跨いだところ、そのあたりについて大局的な見解を示していただくと、その枠の中で対応できるのかな、というのが一点目です。

二点目は、東京オリンピック・パラリンピックの関係でございます。2月の28日、全国に先駆けて、聖火リレーのリハーサルを羽村市で決行していただきましたけれども、そういう意味で、またIOCの方でも、聖火リレーに関しての一定の見解を示していただいておりますので、この、国を挙げての、世界に向けて発信できるイベントについては、今の段階ではできるだけ最善を尽くして、これを方向として実現していくんだと、こういう基本姿勢を取っていただくということを大前提に、みんなでこの難局を乗り切るという基本姿勢を、今のところは継続して貫いていただきたい、と要望として申し上げさせていただきたいと存じます。以上でございます。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、小平市小林市長から御発言をお願いできればと思います。

#### ○小林市長（小平市）

おはようございます。小林でございます。政府の対応の方針が出まして、2月28日に小平市でも対策本部を開きまして、その対応にあたっております。今のところは、問題なく非常に平穩に推移をしております。市民の皆様の理性的な行動につきまして、まず感謝申し上げますと思っております。また、小中学校が休校になったということで、子供の日常生活についての心配があった訳ですけれども、学童クラブは午後からの開催でしたけれども、8時15分から開くということで、申し込みが増えるのではないかと心配をしておりましたが、おおよそ半分くらいの申し込みで、大きな混乱もなく、むしろ半分程度の申し込みでしたので、非常に安定して運営をさせていただいております。これも順調と言っているのではないかと思っております。あとは、清水会長や並木顧問の方から話がありましたように、情報についてですね、今、情報が溢れておりまして、フェイクを含めて混乱するところがありますので、行政から出る情報というのは非常に信頼性が高いですので、是非そこは、東京都は広域自治体ですので、東京都の方から正確な情報を速やかに各市町

村に出していただければと思っております。それから、重複しますけれども、私が一番心配をしているのが、地域経済への影響です。早速昨日、補正予算を組んで、信用保証協会が満額で融資をされるとのことでありますので、今日から受付というように聞いており、殺到するのではないかと思います。是非その地域の声を迅速に受け止めて、対応にあたっていただきたいと思っております。

最後になりますが、3月2日から当市では25日まで休校をしておりますけれども、この再開を、25日で済めば良いですけれども、ここ1週間2週間の間にどのように状況が変化していくのかわかりませんが、出来れば各市がバラバラにならないように、もちろん個別の事情があったにせよ、そこで我々がその判断に迷わないように、東京都の方で大局的な方針を示して欲しいと思います。今回は政府の方針がありましたので、再開についても各市バラバラにならないように、出来れば東京都の方で大局的な方向を示していただきたい、そのことを切に希望して、私からの要望とさせていただきます。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、町田市の石阪市長から御発言をお願いいたします。

#### ○石阪市長（町田市）

知事、おはようございます。町田市長の石阪です。大変お世話になっております。冒頭一つ御礼を申し上げたいと思います。福祉保健局の方に私どもの方から要望をしておりました、町田市立の市民病院、ここのマスクといくつかの資材について、何とか調達していただきました。ありがとうございました。マスクはですね、今画面で見えるでしょうか、これはN95というマスクですけれども、ストックが足りなかったのですが、何とか供給いただきました。ただ、こちらではない普通のサージカルマスクについて、こちらの方は在庫が不足しておりますので、もう一段の支援をお願いしたいと思います。また、もう一つ不足しているものがございまして、不織布のガウンでございます。これがだいぶ切迫してきておりますので、重ねてで恐縮ですが、こちらの方も配慮をいただきたいと思っております。

さて、今日の私の方からのお話はマスクとアルコール消毒液についてだけでございます。医療関係では医師会の方から、各診療所の方で、やはりアルコール消毒液とマスクが足

りなくなっているという連絡が市の保健所の方に入っておりますので、そのあたりも配慮いただければ有難いなと思っております。

この2日から、小学校、中学校がお休みになった訳ですけれども、当然ですが保育園・学童・高齢者施設等、みんな営業をしております。そして、そこで一番懸念されているのが、アルコール消毒液とマスクが不足がちだということであります。対策をとっていただいていることは承知しておりますが、その辺についても実際上の補填をお願い出来ればありがたいなと考えております。特に保育園と幼稚園、学童ですけれども、市内で約190か所ございます。こちらの方も各園からは不足していると。そして町田市役所の庁内でも一生懸命集めているのですが、これがなかなか集まらないということで、こちらの方にもご支援をいただきたいと思っております。

こうした事情は高齢者施設等も同じですので、こうした実情を汲んでいただいてご支援をいただければありがたいと。物の要請ばかりで恐縮ですが、お願いいたします。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、東村山市の渡部市長からご発言をお願いいたします。

#### ○渡部市長（東村山市）

おはようございます。東村山市の渡部でございます。本日はこういう会を開いていただいております。今も町田市長さんからお話がありましたけれども、我々が現場で一番困っておりますのが、マスクや消毒液の不足でございます。先般、東京都の方から東京マラソンで使わなかった分を各区市町村の方にお回しいただけるということで大変ありがたく思っております。感謝申し上げます。

地元の医師会と先日来、情報交換の場を設けておりますが、やはりお医者さん達も心配しておりますのが、待合でマスクをしていない患者さん、高齢者の方がいらっしゃって、要するに待合室で院内感染を発生させてはまずいので、何とかマスクを市の方で供給してほしいという要望をいただいておりますが、なかなか市の方も在庫がない。しかも小学校を休校することで児童クラブを開けなければいなくなったわけですが、正規職員だけでは対応ができませんのでかなりの数の臨時職員を急激に雇用して、臨時職員にもマスクを着用するように指導しておりますが、個人では確保が出来ないということもあって、市で

備蓄しているものをこれから着けて子供たちに接するようにはしておりますので、政府の方でも量産をして国が買い取り供給するというようなスキームを作りつつあるようですが、是非オール東京で、必要なマスクやアルコール消毒液のような身近な物資を東京都の方で確保していただいて、都内の各区市町村に、特に自治体と医療機関、それから子供の施設や高齢施設に何とかいきわたるようにはしていただくことが一番求められていることではないかと思っております。

それともう一つ、やはり学校が休校になってしまって、今各学校の先生方がいろいろ苦労しながら個別に子供たちの自宅を訪問して様子を伺ったり、課題を与えたり、課題を回収したりしているわけですが、基本的には自宅待機ということですので、家にずっと子供がいるというのも大変なことです。とはいえ屋内の一か所に集めてしまうのも休校にした意味合いが薄れますから、出来るだけ積極的に、屋外の広いところで感染に気をつけながら遊ばせるのは必要ではないかと思っておりますが、その辺について東京都に音頭をとっていただきながらこの休校期間の子供たちの有効な過ごし方のモデル、そこにどのように各自治体・東京都が関わるかといったことを、少しスキームを示していただけるとありがたいんじゃないかと考えております。

そしてもう一つはやはり、町田市さんや八王子市さんは自前で保健所を持っていますけれども、保健所を持っていない自治体の場合はどうしても情報が非常に薄くなってしまいう危険性がある、市内の医療機関と基礎自治体・保健所の連携が極めて重要ですので、保健所とのホットラインの設置だとか、定期的な情報交換の場を作っていただくことも非常に今の段階では重要ではないかと考えておりますので、どうしても終息までにはしばらく時間がかかるのではないかと考えておりますが、いかに拡大を遅らせるか、早くピークアウトさせるかということに、医療機関と自治体が連携できるような枠組みを構築していただきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、福生市の加藤市長からご発言をお願いいたします。

#### ○加藤市長（福生市）

おはようございます。小池知事、いつもお世話になっております。福生市の加藤です。

冒頭で清水会長の方から取りまとめていただいた挨拶に尽きるわけでありますが、私ども福生市としまして、基礎自治体として何とか感染予防を徹底していきたいと考えております。ですから、出来ましたら東京都で持っている情報をですね、私どもと共有していただきながら、感染者の居住地や行動歴を外に出すのは難しいと思いますが、是非そういうものもお知らせいただきながら、私どもが仕事をしていきたいなと思っております。

それと、福生市に特化したお話をさせていただきます。お察しのとおり基地の街でございますので、多国籍の文化が根付いております。ですから、言葉の壁も含めて、福生に根付いていただいている外国人の方々にしっかりと情報を流していかなければならないと心掛けているところで、そういう部分の難しさも感じているところでございます。

それと、長い歴史の中で、多国籍の文化というものに含めて、ひとり親家庭、そして生活困窮家庭が多く存在しております。仮に、親の方が感染した場合に、子供達の居場所づくり、生活する場所の準備が待たなしで私どもに求められているところですので、そういう部分も含めて、生活困窮者が受診できるように、しっかりと流れを確保していきたいと思っておりますので、ぜひ東京都に御指示をいただければと思っております。

それと、いろいろな形でコロナウイルスが蔓延する中で、財政措置をとっていただかないと、なかなか小さな基礎自治体としては大変厳しくなっております。給食の材料費の補填とか、様々な部分、放課後の居場所づくりとか、そういう部分も財政措置をよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

#### ○行政部長

ありがとうございました。ただいまのお話を受けて、それでは、知事より御発言をお願いいたします。

#### ○小池知事

それぞれの現場のお声を届けていただきました。様々なニーズがあったかと思えます。清水市長、6本の柱でお伝えいただきました。まず、社会福祉施設、医療機関、学校等におけますマスク、そして消毒液等の衛生消耗品の確保支援してほしいという点、それから全国一斉休校で子供の居場所を確保することについての支援、それから3番目に新型コロナウイルスに關しましての検査体制がどうなっているのか、相談体制がどうなっているのか、そのあたりの強化をしてほしいとの御要望、さらに、それぞれの市や保健所、医療

機関に対する迅速な情報提供を迅速に行ってほしい等、市全体に関わる御要望を伺ったところでございます。

今お話にありましたように、昨日の都議会において、まずは 63 億円規模の今年度の最終補正予算が成立をいたしまして、早速金融支援、感染の拡大防止ということで現場の方で早速ワークしてもらおうわけでございます。それから、今日特に御要望多かったのが、マスク、消毒液等の衛生消耗品の確保についてでございます。これにつきましては、御承知のように、都といたしましては、防護服と N95 がセットになりまして、これについては以前より強毒用、弱毒用合わせましてセットで 200 万に上ります。普通 110 万でいいというような数値目標もございますが、現在約 200 万でございます。それを各市の医師会の方々に、今どれくらいのニーズがあるかということについて御要望を伺った上で、既に医療機関へ発送は終わっております。一方、石阪市長がおっしゃいましたように、いわゆる普通のマスクと、サージカル医療用につきまして、こちらの方はそもそもこれまでの都の防災備蓄用品の対象となっておりますので、これについては、例えば先日行いました東京マラソンで使用しなかった分のマスクを財団の方から東京都にお託しをいただいて、学校、そして医療機関、まず必要な施設に第一弾としてお送りさせていただいたところであります。今、この御要望を受けまして、都としてより多くのマスクを確保できるようにいたして参りますので、順次お届けできる態勢を整えていきたいと考えております。

それから、これらのことを積み重ねると同時に、これからますます行事が多くなる季節でございます。今後どうやっていくのか、この後、実は専門家の先生方の会議もございませう。それから、日々刻々と状況が変わって参りますので、できるだけ早く今集中期間として今週、来週と定めておりますけど、その次どうするのかということについては、日々の動きを見ながら、また、できるだけ皆様方が早い決断できるようなタイミングを模索いたしまして、情報、考え方をお伝えして参りたいと考えております。

昨日も皆様と同様に町村会の皆様方とテレビカンファレンスをさせていただきました。地域の特性もございませうけれども、基本的には正しい情報を共有して、そして都民の皆さん、市民の皆さんにお伝えすること、ここが一番重要であると感じるわけでございますので、まずは情報を皆様方としっかり、最新情報、正確な情報を共有しながら進めて参りたいと存じます。そして、今日いただきました御要望ですが、大事な御要望ばかりでございます。まさしく都民の御要望でございます。早急に検討チームで検討して、緊急対応策を取りまとめて、また実施していきたいと思っております。

また、皆様の御要望、いつでもお寄せいただければと思いますし、また、この危機感、意識を共有させていただき、都民のニーズにしっかり応えていく、その体制をさらに強めていきたいと考えております。どうぞこれからも頑張ってください。よろしくお願いいたします。

○行政部長

ありがとうございました。そろそろお時間となりますので、もし何か市長様の方で御発言があればお願いいたします。

これで意見交換を終了させていただきます。本日は御多用のところありがとうございました。

[閉 会]